

【別紙】情報理工学研究科 申請要件**① JASSO 書式「業績優秀者返還免除申請書（様式1）」に記載した業績の中から申請してください**

※様式1に記載していない業績は、研究科独自書式に記載しないでください

② 添付資料（エビデンス）の提出は1部で構いません

※JASSO 用と情理研用の2部用意する必要はありません

研究業績ポイント

次の【A】～【F】の各ポイントの合計を研究業績ポイントとして、本件の審査をする。
対象となる研究業績は、以下の要件を満たすもので、根拠資料の添付があるものとする。

項目	業績1件のポイント	申請上限
【A】査読付き論文誌掲載論文(英語)	25点	
【B】査読付き論文誌掲載論文(日本語)	20点	
【C】査読付き国際会議の会議録掲載論文(会議録に論文が掲載されたアブストラクトも可)	10点	
【D】その他(英語)(国内会議論文、研究会論文、全国大会論文、ポスター発表等)	5点	合計6件まで
【E】その他(日本語)(国内会議論文、研究会論文、全国大会論文、ポスター発表等)	3点	
【F】コンテスト等における受賞あるいは入賞などの賞歴	1点	4件まで

【A】～【E】の留意点

- 論文誌や会議録に掲載済の論文は、抜粋（全ページは不要）を添付する。
- 査読付きの場合はそれがわかる資料を添付する。
- 掲載決定で印刷予定の場合はそれが分かる資料を添付する。
- 発表で論文がない場合は会議が開催されたことを示す資料と本人が発表したことがわかる資料(会議プログラムなど)を添付する。本人の名前が掲載されている箇所を色付けすること。また、資料が複数ページにわたる場合は掲載ページを記すこと。
- 指導教員が共著者に含まれていること。
- 論文誌や会議の難易度を考慮して付与するポイントを変更することがある。
- 筆頭著者であることが不明な論文はカウントしない。
- 本学部、学科、研究室が主催する会議や研究集会の業績は原則カウントしない。
- 新たに追加で添付する資料があれば、申請書と同じ業績番号（例：「A-①」、「C-②」）を付番する。
- 【A】【B】【C】については、雑誌、会議の h5index（以下の URL による）を申請書に記載する。

URL https://scholar.google.com/citations?view_op=top_venues&hl=en

既に JASSO 様式1に記載のうえ提出済の場合、資料の再提出不要

【F】の留意点

- 受賞名称、賞を与えた機関・組織名称、受賞年月日、申請者が受賞した事実がわかる論文誌等の記事のコピー、URL、あるいは賞状のコピーを添付する。
- 新たに追加で添付する資料があれば、添付資料には申請書と同じ業績番号（例：「F-①」）付番する。
- 本学（あるいは関連組織）からの受賞はカウントしない。

申請時の注意点

- 注1) 添付資料に不備がある場合や内容に問題がある場合はカウントしない。
注2) 虚偽の業績を申請した場合は、本件にかかわる申請を却下する。
注3) 以下は業績としてカウントしない。

- 海外留学
- 海外・国内インターンシップ
- コンテスト（受賞した場合あるいは上位入賞した場合は申請可）
- フィールドワーク、学会等への参加歴
- 技術資格

以上